

2019年10月1日に日刊工業新聞の紙面に掲載されました。

日刊
THE NIKKAN
工業
KOGYO SHIMBUN
新聞

10月1日 火曜日
2019年(令和元年)

TODAY

34 深層断面



携帯一端と通信料を分離
改正電気通信事業法が、10月1日に施行する。携帯電話大手は同法で義務付けた携帯端末代金と通信料の完全分離プランを相次ぎ発表。利用者が乗り換えやすい料金プランになりつつあるが課題はまだ残る。(KDDIの新料金プラン発表会)

08 スチコン式再加熱カート
ニチワ電機、病院・高齢者施設向け

アイズロボ 来月から受注



移動型協働ロボ

アイズロボ(大阪府寝屋川市、久保光男社長、072・829・3560)は、協働ロボットと無人搬送車(AGV)を組み合わせた移動型協働ロボットを製品化し、11月に受注を始める。価格は1800万円程度(消費税抜き)と他社製品より

2割ほど抑え、製品もコンパクト化した。10月中は本社工場内にデモ展示スペースを設け、メーカーや商社など約30社に省人化システムとして提案する。年10台の販売を目指す。ファナックの可搬重量15kgの協働ロボットとKKS(大阪市西淀川区)の無人搬送車(AGV)に、独自の制御システムを組み合わせた。商品名「アイズロボ」で販売する。デモ展示は2パターンを設定。一つは、協働ロボットが移動しながら加工対象物を取り出しつつ素材を供給する。もう一つは人手不足のコンビニエンスストアのバックヤードをイメージし、ペットボトル飲料の商品補充やシール貼りを行う。

【特集】関西ものづくりワールド2019(23-27面)